

まちかど座談会



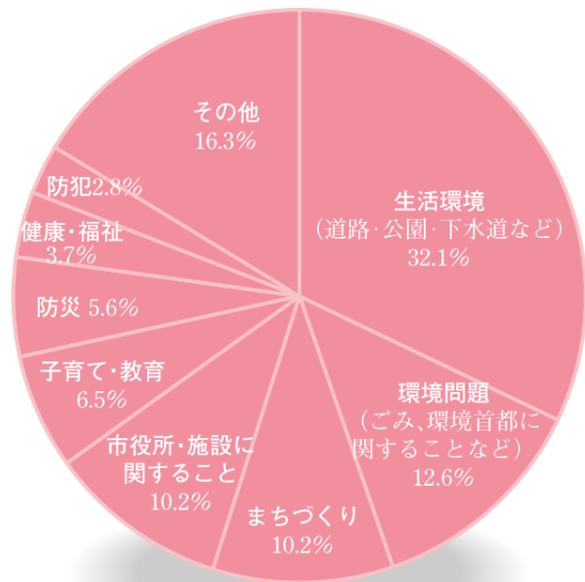
まちかど座談会から

小学校区ごとに全20回を開催し、646人が参加
215件のご意見・ご提案がありました。

7月～11月にかけて、市民の皆さんと市長が直接話し合う「まちかど座談会」を小学校区単位の20会場で行いました。座談会の前半部分では、市長による第7次総合計画の概要に

ついての報告があり、後半部分では、みなさんからいただいたご意見・ご提案に対して市長や担当部長が回答をしました。今回は、その一部をご紹介します。

ご意見・ご提案の内訳



生活環境

Q



道路の側線や横断歩道の白線が消えています。このままでは事故が起きるのでは。早めに直して欲しいです。
A 交通量の多い場所ほど早く消え、一般的には、県道にそれが目立ちますので、県道を管理している愛知県に要望していきます。市道について



生活環境

Q



は、道路のパトロールと市民の皆さんからの通報により対処していきます。

アスベストの使用状況について教えてください。

A 西部小学校で使用していたため、耐震化工事の際に除去しました。また、市民会館と体育館でも使用されてきました。市民会館については、空気中の飛散濃度を測定したところ問題なしとのことでしたが、今年度中に除去などの対策を予定しています。体育館は、一般の人が出入りする場所ではありませんが、市民会館と同様の処理をしていく予定です。

環境問題

Q



ごみの分別が悪く、ごみステーションに必ず残ってしまう、監視員が持ち帰っている状態なので、市で回収してもらいたいです。ごみ対策の市の姿勢とごみ袋記名方式の取り組みについて聞かせてください。

A ごみ問題は、市民一人ひとりの意識が大切です、市がすぐに回収してしまうとモラルが低下する心配があるため、現在は時間を置いてから回収をしています。市では、衣浦のごみ最終処分場の埋め立て残量が少なく、限界にきているため、榎前埋立場のごみの再分別に取り組んでおり、

環境問題

Q



こういった現状を市民にPRし、ごみ減量意識を高めていくことが重要と考えています。また、ごみ袋の記名方式については、プライバシーの問題もあり、地域の合意で決めたいただいていますので、参考となる取り組みについて、清掃だよりなどで紹介したいと思います。

環境についての教育方針を教えてください。

A 小学校の総合学習で環境に力を入れて取り組んでいます。具体的には、道路や油ヶ淵の清掃、リサイクルプラザやクリーンセンターの見学などを行っています。三河安城小学校では、環境アドバイザーが子どもたちに環境の寸劇を見せ、それを見た子どもたちが、今度は保育園に行つて寸劇を行うといったこともありました。また中学生もフラワロードやまちのごみ問題について学習しています。



三河安城小学校での環境アドバイザーによる寸劇

環境問題



「環境首都」について市民に対してのPRが必要だと思います。市職員の名刺などに「めざそう環境首都・安城」などと入れてはどうでしょうか。

A ステッカーやワッペン、広告、回覧板などでのPRを検討していきたいと思いますが。また、広報あじょうにも、ロゴの掲載などを検討していきます。

まちづくり



安城市は最近、開発が進んでいますが、道路ができれば交通量が増え、交通事故増加につながります。「安心」が一番大事なことだと思います。また、広い田んぼも残して欲しいと思います。

A 都市化が進めば、交通渋滞が増え、その対策にバイパスを造らなければならぬという問題が発生します。また、安城市に転居してきた人に、安城市のどういったところに魅力を感じるか聞いたところ、田園風景が良いという答えを聞きました。

こういったことから、田園風景を犠牲にしてまで、安城市がこれ以上、どんどん都会になっていく必要はないと思っています。

まちづくり



JR安城駅前に多くの風俗店ができ、市街地が様変わりしてきたように感じます。規制は難しいと思いますが、客引きの問題などなんとかならないでしょうか。

A 風俗店について、条例での規制を検討しましたが、一般の居酒屋などと区別することが難しく、また、警察が営業許可を出しているため、警察の立ち入り調査はありませんが、一部の店のみを重点的に取り締まるのは、難しいのが現状です。悪質な客引きについては、警察による指導が可能なほか、地域住民による夜間パトロールをしています。

まちづくり



この地域の景気は元気と聞くが、実感がありません。新しい企業の進出予定はあるのでしょうか。

防犯



JR安城駅前デッキとその周辺が夜になると暗いです。ひったくりがおきるなど不安に感じています。



A 警察の話によれば、駅前デッキに防犯カメラを設置したところ、駅周辺に出ていたカラーギャングがいなくなっただけです。デッキについては、照明が暗いと思いますので、できる限り今年度の予算で対応し、不足であれば、来年度の予算で対応します。駅前が健全な雰囲気になるよう努力したいと思います。

健康・福祉



桜井町に総合福祉施設ができること知りました。いつできるのでしょうか。また、その施設の企画などに市



A デンパークについては、以前から経営コスト削減を行っており、さ

市役所・施設に関すること



デンパークは運営費用を市から補てんしていると聞いています。他の自治体で民間に委託し、成功している例もありますが、デンパークについてはどうでしょうか。

民はどのようにかかわることができませんか。
A 施設は、平成19年1月に着工し、平成20年の春には完成予定です。保育園を併設し、子どもたちが遊ぶ中で、高齢者、障害者や地域の人が集う施設を目指します。施設の運営などは、今後、地域の人も協議する予定です。

A 平成15年度から明祥地区に工業団地を造りました。平成16年度に入ると豊田自動織機をはじめ4社の進出がありました。今後の企業誘致に関しては、既存工業用地の隣地の農地に限り、規模拡大を考えています。



明祥地区工業団地

子育て・教育



国は少子化対策ができていないと思います。安城市は、自ら少子化対策を行って欲しいです。

A 安城市は国から子育てNo.1のモデル都市として指定されています。小学校就学前の医療費無料、保育園の充実、待機児童なしなど、多くの人が安心して子どもを育てる環境が整っています。また、国の合計特殊出生率は1.3を割っていますが、安城

市は1.5を超えています。

防災



消防団員を選ぶのに大変苦労しています。消防団の位置付け、役割がどうなっているのか教えて欲しいです。

A 消防団は、消火活動、風水害の災害出動などの防災で大きな役割をしています。阪神淡路大震災や東海豪雨、中越地震などにめざましい活躍をしました。安城市内には30の消防分団があり、消防団員は404人、そのうちの300人余りがサラリーマンです。活動においては、会社に対し、消防活動を優先するようにお願いしています。現在、いずれの消防分団も団員の確保が難しい状況です。



の芸術家の認知度をあげて、個展を開くなど活用してもらおうと思っています。

その他



安城市の歴史やふるさとに精通した「語り部」の育成をして欲しいです。
A すでに現在、いくつかのサークルが活動していますが、語る機会が少ないと思います。これから活躍の場を増やしていきたいです。また、環境に関しては、環境アドバイザーがあるように、歴史・文化の面でもそういったものを要請していきたいです。

市役所・施設に関すること



市民ギャラリーについて、場所がどこか分からないので稼働率が良くないと思います。もっと市民に周知して欲しいです。

A 市民ギャラリーは、普段は閑散としていますが、安美展が始まれば、多くの作品が集まりにぎやかになります。今後は、県内

まちかど座談会を通して

安城市長 神谷 学

今回のまちかど座談会は、会の冒頭でわたしから第7次総合計画のテーマ「市民とともに育む環境首都・安城」について40分ほど説明し、その後、出席者の皆さまからご意見をうかがうという形式で行いました。毎回の説明自体もなかなか体力のいるものでしたが、その後の質疑応答の時間は、精神面でもずいぶんわたしをたくましく鍛えてくれたように感じています。温かな励みがあり、また一方で厳しい指摘もいただき、振り返るといろいろな思いが脳裏をよぎります。わたしにとっては市民の皆さまと身近にふれあえる20日間であり、その地に出向かなければ分からない行政課題も多くありました。また市民の皆さまの身近な生活感覚や日常の意識を肌身で感じることも大きな収穫でした。厳しい日程だったものの、市長として本当によい勉強をさせていただいたと感じています。ご参加いただいた皆さま、ご意見をいただいた皆さま、本当にありがとうございました。